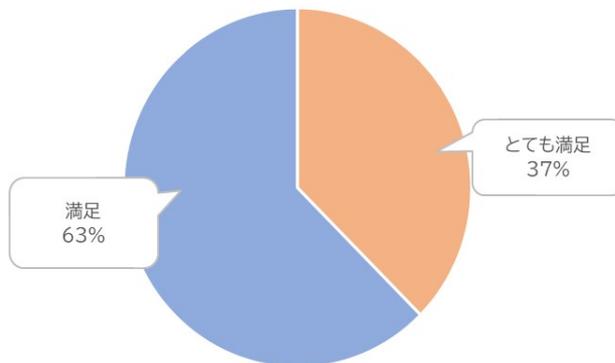


令和7年度山形県老施協 特別養護老人ホーム生活相談員研究会第2回定例会・研修会
「特養の生活相談員実務について～相談援助職としてのスキルアップの課題～」

実施日：令和7年10月22日

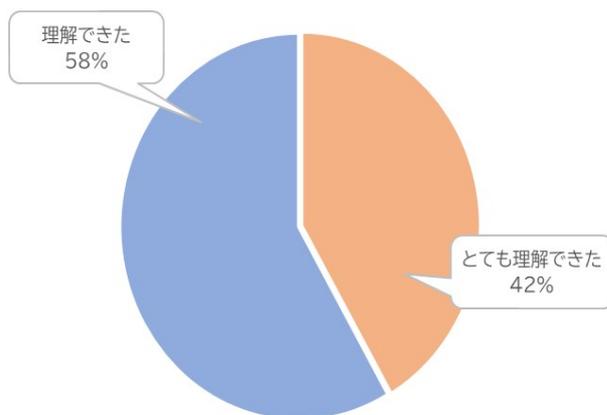
受講者数：126名 回答者数：24名 （回答率：19%）

1. 研修の全体的な満足度を教えてください



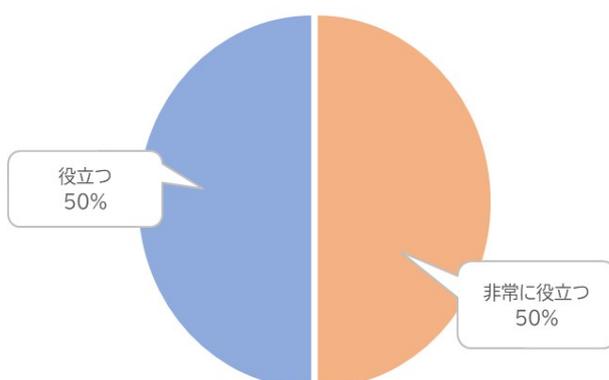
とても満足	9名
満足	15名

2. 研修の内容は理解できましたか



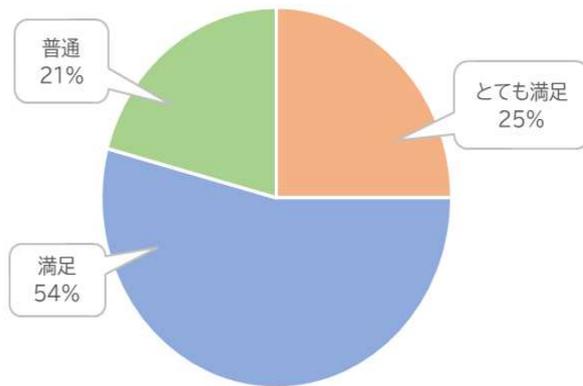
とても理解できた	10名
理解できた	14名

3. 今回の研修は今後の職務に役立つものでしたか



非常に役立つ	12名
役立つ	12名

4. 研修の時間配分についてお聞きします



とても満足	6名
満足	13名
普通	5名

5. 本日の研修についてのご意見・ご感想などをお聞かせください

- ① 生活相談員業務について改めて考えるきっかけになりました。いきなり変えることは難しいですが「頭脳」として取り組んでいきたいと思いました。
- ② 去年同様菊池先生の講義は、自分の仕事を立ち止まって考える機会となっています。後半の分科会も、参考にできること多く実践したいです。
- ③ 菊地雅洋様の講話をお聞きすることができて大変良かったです。生活相談員の職種を俯瞰的に見ることができ、今後の働き方や働く環境について考えることができました。分科会では、各施設が抱える具体的な課題等を上げ、様々な取り組みを把握することができ、情報収集することができました。
- ④ 菊地先生の生活相談員の在り方を深く受け止め、反省はもちろん改めてるべきは早急に改良していきたい。資料を読み返し今後の業務に役立てていきたい。
- ⑤ 普通の相談業務の再確認であったり、再認識が出来たと感じました。講義の全ての内容がソーシャルワーカーのソーシャルの部分で大切であると実感していたのでとても充実した時間だったと考えています。ありがとうございました。
- ⑥ 実際に待機者が年々減少する中で、いかにベッドコントロールを上手くまとめ、稼働率に繋げていくか課題であった為、試せる所から実施したいと感じた。
- ⑦ 相談員の役割について不足している部分が多いと感じました。施設内だけでなく、外部に向けて発信や利用者や家族との関わりをどう取り組むか考えたいと思います。
- ⑧ 研修を通して相談員の役割や自分の課題など、気づきに繋がりました。お話を聞いていると活力が湧いてきました。研修ありがとうございました。
- ⑨ 人材不足の中で相談員として何をすべきかを学べた有意義な時間だった。
- ⑩ 生活相談員の役割を考える機会になった。介護職員ではないし、施設全体を捉え今後に向けて、ベッドコントロールや入所申込受付などを行っていくことの重要性を学んだ。
- ⑪ 研修で話して頂いた内容は、相談員業務の基本的なこと・重要なことであるが日頃の業務でどうしても忘れがちになってしまっていた。いつも頭のどこかに置いておいて、施設のおお、舵取り役として役割を果たしていきたい。そんな気持ちを強くしてくれる研修でした。質問ではないですが、今後の生産性向上の取組や加算改定の方角性はどうなっていくのか、特養はどう進化すべきか、菊地先生のお考えが聞きたいです。
- ⑫ 今回の分科会は提出議題がなく深い話までできなかったので、提出議題や何か話題提供があると良いと思いました。
- ⑬ とても分かりやすく話を聞く事が出来ました。今まで相談員の役割とは思っていなかった事もあり日々の実務で意識しながら取り組んでいきたいと思ひます。

- ⑭ 研修会について、内容としては相談員としての理想的な姿でこのようにあるべきと感じているものの、様々な理由から現状としてなかなか実践まで至っていないことが多く、一つ一つ改善していく必要があると感じた。
分科会では、他施設の現状や取組みを知り、大変参考になった。
- ⑮ 生活相談員に必要なスキルや役割について学ぶことができました。やらねばならないことはたくさんありますが、一つ一つ取り組んでいきたいです。
- ⑯ お話をお聞きできなかった資料を見させていただき、ぜひお聞きしたかったと思いました。とても興味深い内容でした。
- ⑰ 相談員の役割、取り組むべき事など、改めて振り返る事が出来ました。
今後は広報活動が必須だと感じました。
- ⑱ 講師のお話も大変勉強になりましたが、施設間での情報交換も大変参考になりました。

6. 今後の研修で取り上げてほしいテーマや内容がありましたらお聞かせください。

- ① 身寄りのない方の受け入れを行っている施設の現状・事例 (他、1名)
- ② 看取りケアについて
- ③ 今回の講義の最後の部分を次回聞きたい
- ④ 人員不足に対応できる生産性向上の取り組み
- ⑤ 接遇について
- ⑥ 他職種間の連携について (他、2名)
- ⑦ 施設での具体的な取り組みについて(助成金、加算要件、等)
- ⑧ ACPへの取り組みについて
- ⑨ 特養での医療連携について
- ⑩ LIFEの活用を相談員の視点でどのように行っているか、行っていくかの情報交換会
- ⑪ 他職種が集合研修をしているので、生活相談員研究会もいずれはのタイミング(集合研修)を検討してもらいたい。